



国境を超える『さらなる男声合唱の発展を求めて！』

# JOINT CONCERT

SHANGHAI GLEE CLUB

上海グリークラブ

ARCHER

男声合唱団 ARCHER

THE GRANPHONIC

男声合唱団 グランフォニック

2010年10月3日(日)13:00開場 13:30開演

京都産業大学 神山赤一郎

国境を超える『さらなる男声合唱の発展を求めて！』

# JOINT CONCERT

2010年10月3日(日)13:00開場 13:30開演

京都産業大学 神山ホール



## ごあいさつ

本日は、ご多忙の中、男声合唱3団体（グランフォニック、上海グリークラブ、アルシェ）のジョイントコンサートに多数のご来場を頂き、心よりお礼を申し上げます。

この神山ホールは京都産業大学グリークラブが、全日本合唱コンクールにて5連覇達成時に、故 柏祐賢学長より「グリークラブは大学の宝」とまで言って頂き、そのお祝いとしてグリーホール（神山ホール）を建設して下さったと故 吉村信良先生、本日のピアニスト伊吹元子先生より伺っております。

この神山ホールに真の実力を持つ男声合唱団を神山ホールにお迎えし3団体によるジョイントコンサートが開催できる事を嬉しく思います。

ジョイントコンサートのタイトルは国境を超える『さらなる男声合唱の発展を求めて』と致しました。

演奏を通じ、互いに刺激し合える男声合唱団であり続けたいと思います。全国に多くの合唱団が存在する中で、男声合唱団員の減少が伝えられており、この演奏会を機会に一人でも多くの合唱の仲間が生まれそして感動頂ければと願っております。

最後に多忙期にもかかわらず、このジョイント演奏会の機会を優先的にご配慮頂きました京都産業大学の先生、職員の皆様に心より御礼を申し上げます。

それでは、最後の合同演奏『海の構図』まで、じっくりとお楽しみ下さい。

ジョイントコンサート実行委員長 藤居聖三

ニーハオ！上海グリークラブです。本日のご来場、心より御礼申し上げます。上海グリークラブは、2004年クリスマス、中国・上海地域の日系企業の駐在員の歌好きが集まり結成されました。2007年9月、上海で最初の定期演奏会を開催、その後もいろんな場所で歌う機会に恵まれ、日本、中国など世界の音楽を歌ってきました。しかし、駐在員の宿命で任期が来れば帰国てしまい、気がつけば帰国者の方が多くなっていました。「上海グリーの灯を消したくない」との思いを強くしたメンバー有志、その中に、本日ステージを共にする"ARCHER"、"グランフォニック"メンバーがいることが契機となり、ジョイントコンサートへの参加が実現しました。まさに私共にとって"日本デビュー"であり、大変嬉しく思っています。今日は、在中国メンバーも駆けつけステージに立ちます。得意（！）の中中国語曲を中心に"しゃんぐりハーモニー"をたっぷりお届けしますので、どうぞお楽しみ下さい

上海グリークラブ 団長 月原英郎

本日は、お忙しい中、多数のご来場をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今回のジョイントコンサート、我々アルシェは、北は北海道から南は宮崎まで全国各地から駆け付けた『歌好き』『酒好き』の京都産業大学グリークラブOB約80名に、グリー現役大学生16名を加えた約100名で、演奏させていただきます。普段は月2回の練習ですが、「良い演奏会を作り上げよう！」との思いで、7月からは、お盆も休まず、記録的な暑さにも熱中症にも負けず、毎週練習を重ねてまいりました。また、合同演奏に向けて、京都・名古屋・東京で3団の合同練習も実施し、準備万端(のつもり？)です。猿も出没する神山まで、はるばるお越しいただきました皆様、是非、男声合唱のハーモニーを最後までご堪能ください。

男声合唱団ARCHER 団長 新庄一範

本日はご来場誠にありがとうございます。昨年「アルシェ」さんより、京都でのジョイントコンサートへのお誘いがありました。かねてより関西地区でのステージを望んでおりました私どもグランフォニックにとりましては、男声合唱の雄、京都産業大学グリークラブOB合唱団とご一緒できるということで、喜んで馳せ参じることといたしました。関西地区は日本でも合唱活動が最も盛んな地区であり、名古屋に拠を置く私どもにとりましては誠に身の引き締まる思いです。団員60名、うち3分の1のメンバーの出身地ないし出身学校が関西という深いご縁もあります。今回中国・上海からはるばる海を越えてご参加の「上海グリークラブ」さんとともに、音楽を目指す仲間150名余が、国際色豊かなハーモニーを奏でるという素晴らしい場に立たせていただきます。運営にご努力いただきましたアルシェさんに感謝申し上げます。皆様には上海・京都・名古屋の音楽を心行くまでお楽しみください。

グランフォニック 団長 細江太喜雄

# Program

## Stage 1 上海グリークラブ

指揮／成田正人 鈴木善憲(6.)

### しゃんぐり・ベストコレクション

1. クラブソング (詞・曲：なりた まさと)
2. 時代 (詞・曲：中島みゆき)
3. Jelenti Magát Jézus 〈イエスは三度現れる〉 (ハンガリー民歌、曲：Kodály Zoltán)
4. 聽海 (詞：林秋離、曲：余恵源)
5. 月亮代表我的心 (詞：佚名、曲：湯尼)
6. 祈祷／竹田の子守唄 (中国詞：不明、京都竹田地方の子守唄、編曲：林雄一郎)
7. 美麗的神話 (詞：王中言、曲：崔浚栄)
8. 茉莉花 (中国古謡)

※ 2, 4, 5, 6 (祈祷部分), 7, 8. 編曲：なりた まさと

## Stage 2 男声合唱団ARCHER

指揮／岡本敏幸

### 柳河風俗詩

柳河

紺屋のおろく

作詩／北原白秋

かきつばた

作曲／多田武彦

梅雨の晴れ間

～ Intermission ～

## Stage 3 男声合唱団グランフォニック

指揮／成田正人 ピアノ／早瀬洋子

### 「花鳥風月」～独日歌のあんそろじい～

《花の巻》

《鳥の巻》

《風の巻》

《月の巻》

※編曲：《花・風》なりた まさと、《鳥・月》向川原慎一

～ Intermission ～

## Stage 4 合同演奏

指揮／石原祐介 ピアノ／伊吹元子

### 男声合唱組曲 <海の構図>

海と蝶

作詩／小林純一

海女礼讃

作曲／中田喜直

かもめの歌

編曲／福永陽一郎

神話の巨人

## ◆指揮者



## 石原祐介 (いしはら ゆうすけ)

崇徳高校グリークラブ、京都産業大学グリークラブOB。京都市立芸術大学、同大学院声楽専攻を卒業、修了。第21回飯塚新人音楽コンクール第2位。World Youth Choir、World Chamber Choir日本代表メンバー。声楽家、合唱指揮者、ボイストレーナーとして精力的に活動中。

声楽を灘井誠、山口はやとの各氏に、合唱指揮を吉村信良氏に師事。

現在、プロ合唱団である、神戸市混声合唱団に所属。同志社グリークラブボイストレーナー。アンサンブル「風」、アンサンブル・キルシェ、男声合唱団コール・バッカス各指揮者。



## 岡本敏幸 (おかもと としゆき)

京都産業大学グリークラブ第12代学生指揮者。1978年函館での全日本合唱コンクール全国大会にてBeati Mortuiを指揮して銅賞を受賞。卒業後、湖南フランワーコーラスの指揮者を15年。滋賀県合唱連盟の理事を数年務めた後、15年前に滋賀男声合唱団の創設に携わり団内指揮者となる。声楽を佐々木日出夫氏、尾形光雄氏、合唱指揮を吉村信良氏に師事。アルシェの第4回演奏会に於いては多田作品の「雪と花火」を指揮。



## 成田正人 (なりた まさと)

グランフォニック、上海グリークラブの創設メンバーで指揮者。知多市の交声合唱団ミューザヴォーチェも指揮指導。慶應義塾大学在学中、指揮法を東京芸術大学伊藤栄一教授に師事。学生時代から合唱指揮の傍ら作詞・作曲・編曲に勤しみ現在に至る。シナリオ起しから曲作りまで自ら手掛ける音楽物語形式の作品多数。代表作に『子犬のチロの物語』、男声合唱による《愛の三部作》『パパの子守歌』『絵描きと少年』『不破白人の恋』、盲導犬チャリティー団体委嘱『ハーネスで握手!』、常滑音楽祭委嘱『ブチ・ハラハの謎』等々。来年5月には名古屋で新作『太郎の愛』を発表の予定。



## 鈴木善憲 (すずき よしのり)

上海グリークラブ副指揮者。昨年日本へ帰任した成田の後を受け、中国での演奏活動を統括。毎回の練習日には、勤務先の杭州から上海まで新幹線で駆けつける。鷹匠中学時代に合唱を始め、神戸高校合唱部を経て、同志社混声合唱団こまくさでは学生指揮者。浅井敬壹氏・鈴木捺香子氏らの薰陶を受ける。浜松合唱団に所属した後中国へ赴任。

## ◆ピアニスト



## 伊吹元子 (いぶき もとこ)

京都市立芸術大学卒業。合唱ピアニストの第一人者として各地で活躍。

全日本合唱コンクールでは、多くの合唱団と共に演し、たびたび金賞を受賞。京都産業大学グリークラブの21年間に亘る全国大会を全て伴奏。9年連続金賞1位獲得の立役者でもある。

長井賞奨励賞、京都府合唱連盟大賞を受賞。2008年度藤堂音楽褒賞受賞。混声合唱団京都木曜会・男声合唱団ARCHERピアニスト。現在、大谷大学講師。



## 早瀬洋子 (はやせ ようこ)

愛知教育大学音楽科、同大学院修了。学生時代より名古屋二期会を始めとして中部地区の多数の団体にて、オペラ・オペレッタ・ミュージカルの稽古ピアニスト、コレベティトゥア、公演ピアニストを務める。伴奏者として活動する傍ら、長年名古屋芸術大学で実技助手としてオペラの授業も担当。栗原一身氏、平尾はるな氏、山崎晴代氏、三浦洋一氏、ジャンニ・クリスチャック氏らに師事。9年前にグランフォニックのピアニストとして招聘、現在に至る。本日の演目は、その最初のステージ曲であり、懐かしの再演となる。

# Stage 1 上海グリークラブ

## しゃんぐり・ベストコレクション

世の中、草食系だの肉食系だの何やらかまびすしいですが、上海グリークラブは「雑食系」です。そのレパートリーは雑多で幅広く、正統派の合唱曲からポピュラーや民謡の編曲モノまで。また、世界を又にかけて飛び回ってきた海外駐在経験豊富な者たちの集まりですので、操る言語も多様。これまでに取り上げた曲の歌詞は、日本語・中国語・ドイツ語・ラテン語・イタリア語・マジャール語・ロシア語・タガログ語・英語…本日は、そんな私どもの多彩なレパートリーから、8曲を厳選してお届けします。すべてア・カペラ（無伴奏）です。

実は当団には、ステージに関する3つの厳格な "おきて" があります。

- 一、スタートは《クラブソング》からとし、歌い終わりはポーズをキメること。
- 二、必ず1曲は中国語の歌を入れること。
- 三、エンディングは《茉莉花》とし、最後の音を思いつ切りフェルマータすること。

本日のプログラミングも、この"おきて"を忠実に守ったものとなっています。

その《クラブソング》は、2006年2月にマレーシアのクアラ・ルンプルで開催されたアジア男声合唱祭に参加すべく、その年の1月に急遽指揮者が書き下ろしたものです。団員の友人（韓雲龍さん）が歌詞の一部を中国語に翻訳してくれて、現在の形になりました。

次は、ご存知中島みゆきさんの《時代》。世代を超えて愛唱されていますが、中国でも人気を博しています。3曲目は、本ステージ唯一の本格的正統派合唱曲ともいえる《Jelenti Magát Jézus（イエスは三度現れる）》をマジャール語で。切々と、時に激しく救いへの願いを歌い上げる、ハンガリーを代表する作曲家コダーイの作品です。

4曲目からは、せっかくですので中国語の歌をご披露します。《聽海》は、張惠妹が歌い、生まれの台湾はもちろん、香港や中国大陆でも大ヒットしたバラードです。「私から離れて行くあなたに、この海の泣き声が聞こえますか？」と、切なく語りかけます。《月亮代表我的心》は、日本でもお馴染みのテレサ・テンが歌い、中国に駐在する日本人の大半が一度は歌うであろうというメガ・ヒット曲。続いて"中国に帰化した日本の歌シリーズ"から《祈祷ノ竹田の子守唄》。日本の歌が中国で受け入れられ、今はやオリジナルが日本だということは忘れ去られている一例です。そして《美麗的神話》。香港のジャッキー・チエンと韓国のキム・ヒソンが共演して話題になった映画「神話」の主題歌。千年の時空を超えた大恋愛の物語に相応しい、スケールの大きな曲です。

最後は"おきて"通り《茉莉花》。プッチーニが「蝶々夫人」で使い一躍有名になった曲ですが、本日はしゃんぐり風味でお楽しみください。



上海グリークラブは、普段、中国、日本と分かれて練習しています。日本国内でも東京、大阪、名古屋、仙台など各地に散らばっており、一堂に会する機会は限られていますが、それだけに毎回中身の濃い練習に務めています。練習後は、今日お聴きいただくなぞの歌詞にあるように「♪酒も好きだけど歌はなお好き♪」な者の集まりで、練習後のビール、紹興酒。白酒などを酌み交わしながら音楽談義に花を咲かせています。そんな上海グリーのセールスポイントは、レパートリーのほとんどがオリジナル編曲……そう、ここでしか聴けない曲です。今後もこうした世界の歌をお届けして行きますので、皆様のご支援をお願い致します。

Top Tenor	北田 尚	鈴木 貴元	相馬 仁志	成田 正人	萩野 敦司	長谷川正吾	樋口 武男
	本田 圭介	孟 堅	山下 祐子				
Second Tenor	飯田 一彦	月原 英郎	松下 達	村上 満			
Baritone	伊藤 淳二	大瀬 弘太	福光 聰	藤居 聖三	松下 駿助	美浪 孝之	山崎 知行
Bass	入江 隆生	改正 将夫	菊池 修一	坂元 正克	篠田 伸夫	鈴木 善憲	竹内 孝夫
	橋 雅夫						

## 柳河風俗詩

本日の演奏をより楽しくお聴きいただくために、①～④の深い関係を説明させていただきたいと思います。

- ① 柳河と北原白秋の深い関係
- ② 北原白秋と多田武彦の深い関係
- ③ 多田武彦と吉村信良の深い関係
- ④ 吉村信良とアルシェの深い関係

①の関係は言うまでもなく詩人北原白秋が早稲田大学にはいるまで過ごした故郷です。北原家の酒倉が全焼し、以降家産が傾きはじめても、白秋自身は依然文学に熱中し、同人雑誌に詩文を「白秋」の号で掲載していた。柳河は城下町として栄えた街ですが、白秋が大人になった頃には随分衰退したもようです。その寂れた故郷を書いた「思い出」から4つの詩に曲を付けたのがこの曲集です。

②の関係は多田作品の特徴は何より詩の選択がすばらしいことです。彼の作曲の先生である清水修から日曜作曲家として音楽を続ける事を提案され、これまでに作っていたいくつかの曲を組曲として構成して生まれたのが「柳河風俗詩」（デビュー作）です。その後も「雪と花火」「東京景物詩」など白秋の官能（耳・鼻・目など感覚器官の働き）の象徴詩を題材に、素晴らしい男声合唱曲が作曲されています。

③の関係は多田先生が吉村先生の京都大学の2年先輩という間柄で親交が厚く、多田先生が吉村先生の昭和56年度京都市芸術奨励賞を祝し「草野心平の詩から第二」を献呈され、産大グリーが吉村先生の指揮で初演をさせていただいています。

④の関係は1970年に始まり先生が亡くなられた昨年3月まで産大グリーの現役のお世話からOB合唱団のアルシェの親分として支え続けてくださいました。

今日ステージの上にいるほとんどが、吉村先生の指導のもと、多田先生の多くの名曲を歌い続けてきたメンバーです。

最後に組曲全体をイメージしていただくために、白秋の「思い出」より一部引用させていただきます。

「私の郷里柳河は水郷である。さうして静かな廃市の一である。（中略）水は清らかに流れて廃市に入り、廃れはてたNoskai屋（遊女屋）の人もなき厨の下を流れ、洗濯女の白い洒布に注ぎ、水門に堰かれては、三味線の音の緩む昼すぎを小料理の黒いダリアの花に歎き、酒造る水となり、汲水（くみず）場に立つ湯上りの素肌しなやかな肺病娘の唇を漱ぎ、気の弱い鶯の毛に擾され、さうして夜は観音講のなつかしい提燈の灯をちらつかせながら、樋（いび）を隔てゝ海近き沖ノ端の鹹川（しおかわ）に落ちてゆく、静かな幾多の溝渠はかうして昔のまゝの白壁に寂しく光り、たまたま芝居見の水路となり、蛇を奔らせ、変化多き少年の秘密を育む。水郷柳河はさながら水に浮いた灰色の柩である。」



1982年1月10日 京都産業大学グリークラブ第13回定期演奏会における現役&OB合同ステージを契機とし、OB会員によるOB合唱団として発足。以来、1983年より毎年、京都合唱祭に参加し続け、細く長く活動してまいりました。2002年からは、ほぼ2年に1回、単独の演奏会を開催。演奏会を機に、卒業以来〇十年ぶりに合唱を再開する者も続々と現れ、現在では、京都と東京で常時50名前後のOBが、月2回（東京は1回）の定期練習を重ねております。近年は、京田辺、長岡京、金沢、徳島等、各地で招待演奏をさせていただく機会も増え、ますます活発に活動しております。

<b>Top Tenor</b>	大原 守 松井 聰 伊藤 仁郎 佐藤 元	橋本 泰敏 野田 敏行 富倉 康之 西井 宏光	中山 嘉晴 北島 良仁 藤波 隆 藤原 新	山田 直親 高田 茂宏 金島 学	濱田 久光 岡山 宗弘 今井 亮太	三浦 信介 森分 章彦 猪島 範久	樋田 勝彦 岡村 修 堤 隆太郎
<b>Second Tenor</b>	田中 基文 峯 秀治 奥野 泰史 西村 充史	阪本 覚 小田 州宏 近藤 浩之	前田 昌彦 蔭山 哲也 山川 雄史	吉森 久芳 安村 隆 勝本 優哉	浦野 恭義 谷口 竜吾 嶋村 翔太	青野 茂 工藤 伸哉 平松 正	浅田 大輔 津田 裕介 塩崎 鋭
<b>Baritone</b>	岡本 敏幸 曾田 俊和 石原 祐介 中野 雅人	加納 秀郷 谷利 威 中野 雅人	寺岡 慶治 中川 達也 徳永 雄一	寺井 常彦 橋本 圭弘 木村 剛志	月原 和郎 水野 雅喜 城野 義久	藤居 聖三 北田 尚 上辻 唯輝	山浦 裕二 岡田 晃一 瀧谷 歩
<b>Bass</b>	横山 哲法 長井 健二 宮嶋 昂一 中村 后似 木村 薫	若狭 明光 西川 泰功 土井原 聰 新庄 一範	佐竹 健一 梅原 一夫 阿部 幸三 村田 憲章	黒崎 紀夫 桑野 直裕 玉川 義久 藤本 量三	駒田 貴司 長尾 武司 峯松 重喜 澤村 大	三井 英樹 野路 隆一 後藤 稔 高橋 竜二	青木 活一 後藤 修 藤田 賢二 大石 悠暉

## Stage 3 男声合唱団グランフォニック

### 「花鳥風月」～独日歌のあんそろじい～

組曲『花鳥風月』は、グランフォニック第4回定期演奏会用のステージ曲として2001年に編まれました。当時としてはかなり意欲的な作品で、随所に工夫が凝らされています。

常にオリジナル性を求める、またドイツ音楽とも繋がりの深い当団ですので、ドイツと日本それぞれの「花・鳥・風・月」をテーマにした様々な楽曲を持ち寄り、切って貼ってコネで一つの作品に仕上げようという試みでした。しかも多様なテイストを味わって頂こうと、二人の指揮者が「花・風」と「鳥・月」を分担して編曲・指揮することにしました。弁士風の口上で各節を繋ぎ、また視覚的にも楽しめるステージ作りを目指した目論みは成功し、2002年の「梅雨晴れコンサート」でも再演されました。本日は一人指揮者制で演奏しますが、この作品の持ち味は充分堪能して頂けるものと信じています。

さて、30分強で繰り広げる『独日：花鳥風月』の世界。大半がよく知られた楽曲で構成されていますが、皆さんにはいったい何曲お気付きになるでしょうか。隠し味として一瞬しか顔を出さないメロディを発見するのも、楽しみ方のひとつです。もちろん、そんなことには一切構わず、一塊の新しい作品として楽しんで頂いても結構です。

各曲には一応主軸となる歌がありますので、それだけはヒント風にご紹介しておきましょう。

『花の巻』独：文豪ゲーテのこの詩には、世界中で121通りの曲が付けられているそうです。日：日本で花といえば桜。一面の桜をイメージさせるのは、やはり瀧廉太郎の…でしょう。

『鳥の巻』独：日本では「霞か雲か」と歌われるドイツ民謡。実は「いろいろな鳥たちが集い来て歌っているよ」と春の到来を喜ぶ歌です。日：西条八十が自分の人生になぞらえて書いたといわれる悲しい鳥の歌。でも、希望は捨てずに。

『風の巻』独：毎年恒例ボックビールの蔵開きを待ちわびる学生たちの様子を、南ドイツの方言で歌います。日：蝶々もひらひら豆の花、七色畑に妹の…都会ではすっかり見なくなった懐かしい光景ですね。

『月の巻』独：著名なピアノ曲や交響曲の旋律に乗せてドイツの子守歌を。日：くっきり冴え渡った月も佳いけれど、おぼろに霞む月にも趣があります。



早いもので「グランフォニック」が名古屋の地に誕生してから足掛け16年の月日が流れました。働き盛りの壮年だった創設時のメンバーも、今や後期高齢者の仲間入り。でも、歌い続けることが何よりのアンチエイジングなのか、今日も元気にステージに立ちます。そんなますます意気軒高なおじいちゃん・おじちゃん達に引っ張られ、この16年の間にメンバーも増え続けて今や60名の大所帯になりました。20歳代から70歳代まで、仕事も故郷も体型も髪の毛の量もバラバラの私たちですが、歌うことが大好きという点では全員一致。週一回の定期練習と月一回の特別練習をベースに、活動を続けております。本日はこそって名古屋より駆けつけました。

#### Top Tenor

池田 祐一	伊藤 高潤	鹿住 誠	片田 保彦	神谷 立正	黒岩 実	小林 武
小宮 俊英	佐々木正義	鈴木 英孝	田中 良夫	○藤田 東一	三ツ松 平	

#### Second Tenor

新谷 岳史	飯田 公男	石井 清	○伊東 健光	大浦 亮一	河内 幸雄	小林 信夫
佐藤 正	柴田 道昭	中村 嘉夫	根木 和彦	間瀬 譲	松浦 治徳	森重 雅夫

#### Baritone

天野 浩	伊藤 慎二	○神田 久嗣	黒田 泰男	芝木 昌一	寺島 正晃	永井 一美
弘瀬 嘉夫	細江太喜雄	安田 俊哉				

#### Bass

○浅井 良之	浅野憲一郎	石川 聰	犬塚 弘道	井ノ口貴敏	小嶋 聰	鈴木 秀樹
外村 俊夫	富田 敏夫	成井 詔彦	藤山 祐司	古田 和則	間瀬 裕士	松原 成憲
村井 裏介						

○印：パートリーダー

## Stage 4 合同演奏

### 男声合唱組曲「海の構図」

オリジナルは混声合唱。NHKが委嘱し、1961(昭和36)年6月30日放送の「現代音楽日本曲集」の時間に、東京混声合唱団、指揮・田中信昭、ピアノ・田中瑠子により放送初演されました。今回演奏する男声合唱版は、福永陽一郎の編曲によるもので、1970(昭和45)年10月に行われた、東西四大学合唱演奏会での合同演奏として、指揮・北村協一、ピアノ・笠原進により初演されています。

北原白秋に師事した、童謡詩人としても名高い小林純一と、様々なジャンルに数多くの名曲を残した中田喜直によるコンビは、「あひるの行列」や「大きなたいこ」などの童謡作品に多くその名を見つけることができます。

この曲のために書き下ろされた詩は、海の持つ、人知を超えた力強さや、その「海」の中で懸命に生きている人(=海女)や生き物(=かもめ)を雄大に、神秘的に描いています。そしてこれらの詩が持つ美しい響きは、大人のための童謡と言っても過言ではないと思います。また、作曲者は、詩のもつスケールに負けない、ピアノ譜を書き、歌には5連符や6連符などを使うことにより、自由詩特有の、話すような口調を最大限に活かしています。

この曲が生まれた1960年代は、日本の合唱音楽において、たくさんの名曲が生まれています。「水のいのち」、「岬の墓」、「嫁ぐ娘に」、「三つの抒情」……。男声合唱では、「アイヌのウポポ」、「合唱のためのコンポジション第3番」など。それら名曲の中にあっても、この曲の持つ雄大さは、決して劣っているものではないと感じています。

作曲者、中田喜直の没後10年の今年、彼の混声合唱の中でも「都会」と並んで、もっとも成功を収めたものの一つであるこの曲を、くしくも没後20年になる、日本の男声合唱に多大な貢献をした、福永陽一郎の編曲で演奏できるということは、男声合唱をこよなく愛し続けてきた私たちにとって、思い出深い一日になることでしょう。

男声合唱の持つ、独特の響き、そして色気を存分に堪能してください。

### 今後の演奏会の予定

2010年11月3日(水・祝)

第12回バッカスフェスタ(関西男声合唱祭) @伊丹市立文化会館いたみホール

2011年1月8日(土) 開演:14:00

京都産業大学グリークラブ第42回定期演奏会 @呉竹文化センター

プログラム ◆無伴奏男声合唱のための『シャガールと木の葉』  
◆男声合唱曲集『そのひとがうたうとき』  
◆企画ステージ



男声合唱団  
ARCHER

2011年1月30日(日) 開演:13:30

全四国男声合唱フェスティバル2011 @アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)

◆招待演奏団体として出演  
◆合同演奏 男声合唱組曲『富士山』(指揮:広瀬康夫氏)  
~合同演奏 一般参加者募集中~(詳しくは、グリークラブ香川まで)

2011年10月23日(日)

男声合唱団ARCHER 第5回演奏会 @京都コンサートホール大ホール



男声合唱団  
GRANPHONIC

2011年5月28日(土)開演時間未定

グラントニック 第10回定期演奏会 @愛知県芸術劇場コンサートホール

プログラム

◆『花鳥風月』 ◆男声合唱組曲「八木重吉による五つの歌」「ひびくたましい」  
◆「Sea Shanty 海の男の歌」◆音楽物語『太郎の愛』~もうひとつの浦島伝説

公式ホームページ:<http://www.granphonic.com/>

国境を超える『さらなる男声合唱の発展を求めて!』

# JOINT CONCERT

I 上海グリークラブ  
しゃんぐり・ベストコレクション  
指揮 成田正人  
鈴木善憲 SHANGHAI GLEE CLUB

II 男声合唱団ARCHER  
(京都産業大学グリークラブOB合唱団)  
柳河風俗詩  
指揮 岡本敏幸 ARCHER

III 男声合唱団グラントフォニック  
花鳥風月 -独白歌のあんそろじい-  
指揮 成田正人 THE A  
ピアノ 早瀬洋子 GRANPHONIC

IV 合同演奏  
男声合唱組曲 海の情図  
指揮:石原祐介 ピアノ:伊吹元子

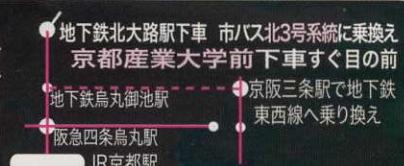
2010年10月3日(日)13:00開場 13:30開演  
京都産業大学 神山ホール

<神山ホールへの交通>

京都駅より地下鉄烏丸線国際会館行き 14分  
又は阪急四条烏丸駅より同地下鉄にて 10分

北大路駅にて

市バス「北3号系統」に乗り換え、15分  
京都産業大学前下車すぐ目の前



<http://chorusfun.net/ksugleeob>

お問い合わせ:裏面もご参照ください 男声合唱団アルシェ団長 新庄一範 k.s.u.glee.ob@gmail.com

